

徳川家康公 作文コンクール

第二十回徳川記念財団コンクール in 岡崎

課題：「家康公と家臣団」
題名・内容は自由

応募期間：
2023年9月1日(金)～9月30日(土)

表彰式(予定)：
2023年11月26日(日) 長誉館

主催／公益財団法人 徳川記念財団
後援／岡崎市、岡崎市教育委員会、
岡崎商工会議所、中日新聞社、
大樹寺、伊賀八幡宮

協力／タニザワフーズ(株)、
一般社団法人 徳川家康公に学ぶ会、
岡崎信用金庫



こちらのQRコードから
徳川記念財団表彰活動を
ご覧いただけます



絵の詳細は裏面の紹介記事をご参照ください

今年も岡崎市において、徳川記念財団主催で、家康公文コンクールが実施される運びとなりました。

今年には特に、大河ドラマ「どうする家康」の主人公が家康公であり、ドラマの軸は家康公と、彼を支える三河武士団との結びつきです。大河ドラマという、日本中が注目する大型のテレビ番組において、岡崎を振り出しに、やがては日本全土に平和をもたらした家康公の活躍と喜怒哀楽、そして三河武士団の一人一人の人となり丁寧に描かれているのを見て、皆さんの岡崎ひいては三河地方に寄せる思いと理解も、いやおうなしに深まっていることと思います。

郷土・三河が生んだ歴史上の偉人たちも、彼らが生きた時代においては欠点も多い生身の人間であった。こうしたことを実感できる大河ドラマの年に、コンクールに応募して作文を書いてくださる小・中学校の児童・生徒の皆さんが、いつにも増して熱心になっていることを期待しています。



徳川宗家十九代当主
公益財団法人
徳川記念財団理事長
徳川 家広



徳川記念財団
公式YouTube

家康公を支えた家臣団

「家康に過ぎたるものが二つあり、唐の頭と本多平八」
家康公の家臣・本多忠勝をたたえた有名な言葉です。武田信玄の家臣が詠んだものですが、「家康公には似つかない宝が二つある。一つは唐の頭（兜につけたヤクの毛の飾り）と、もう一つは本多平八郎忠勝だ」という意味です。さて、この言葉はいつ、どのような時に、忠勝のどのような活躍に對して詠まれたものなのでしょうか。

忠勝は徳川四天王の一人ですが、他に、酒井忠次・榊原康政・井伊直政がいます。いずれも家康公の天下平定を支えた優れた家臣でした。酒井忠次は三方ヶ原の合戦（武田軍との戦い）で徳川軍が敗れた時、逃げ帰った浜松城の門を開け、太鼓を打ち鳴らして敵を退けたお話が有名です。また「えびすくい」を踊ることで話題になりましたね。榊原康政や井伊直政などはどのような活躍があったのでしょうか。

家康公にはこの四天王の他にもたくさんのお優れた家臣たちがいました。大久保忠世や鳥居元忠、平岩親吉、服部半蔵、渡辺守綱、そして石川数正などが有名です。皆さんの住んでいる地域でもきっと活躍した家臣たちがいたのではないかと思います。そんな三河武士たちは忠義の心が強かったと言われていますが、家康公との深いかかわりの中で、ともに天下統一に向かって頑張っていたのです。

今年の作文コンクールのテーマはその家臣たちです。身近な家臣の活躍の様子や現在でも残る足あとを調べながら、自分の思いを作文に書いてみてください。また本などを調べながら家康公と家臣たちの心の絆を考えてみるのも良いでしょう。皆さんの作文を楽しみにしています。
(市橋章男)

表面の絵の紹介

神格化された徳川家康公



東照大権現像
四代木村了琢筆 天海賛
17世紀 徳川記念財団

縹緗の上屋に敷かれた梅の上に右向きで座す徳川家康公(東照大権現)を描いた像。画面上部に南光坊天海(1536?~1643)の賛が墨書される。
家康公は死去した翌年(元和3年・1617)朝廷から「東照大権現」の神号を受けた。東照権現信仰の神威を高め、普及させるために、天海僧正は多くの東照大権現像を描かせ、自ら賛を書き入れた。(徳川記念財団)

第20回「徳川記念財団コンクール in 岡崎」徳川家康公文コンクール募集要項

課題 「家康公と家臣団」 題名・内容は自由

自分の住むまちと家康公や三河武士たちについて、本を読んだり、調べたり、近所の史跡に行き観たり、聞いたりして、感じたこと・思ったことを書いて下さい。

- 【参考例】 ①岡崎と家康公と家臣団について ②どうする家康 大河ドラマ館に行ってみて
③家康公と源氏や足利氏と三河の風土について ④いまに残る伝統行事、祭礼、産業、食などについて

対象 岡崎市内の小・中学校に在学中の児童・生徒

応募規定

- 応募作品は自作の未発表のものに限り、1人1編とします。 ● 作品の著作権は、主催者に帰属します。
- 作品の返却はしませんので、必要な場合は事前にコピーをして下さい。 ● 日本語により表記されたものに限りです。
- 作品の枚数は表紙を除き400字詰め縦書き原稿用紙で、小学校1・2年生は1枚程度、小学校3年生は2枚程度、小学校4～6年生と中学生は4枚程度とします。(図表も必要な場合は含む) 右上端をホチキスで留めて下さい。
- 鉛筆 (HBまたはB) で濃く書いてください。応募する児童・生徒の直筆に限りです。ワープロ・パソコンの作品は認めません。
- 作品には表紙を付け、「題名」、応募者の「学校名、学年、名前(ふりがな)」をご記入してください。

応募期間 2023年9月1日(金)～9月30日(土) 当日消印有効

送付先 応募は学校ごとに取りまとめて応募リストに必要な事項をご記入のうえ、作品と同封し送付して下さい。
送付先 〒444-0912 岡崎市井田西町1番地2 タニザワフーズ(株) 徳川記念財団コンクール in 岡崎 係

審査要項

最優秀作品	徳川賞 1編		
優秀作品	家康賞 3編	岡崎市長賞 1編	岡崎市教育委員会教育長賞 1編
	岡崎商工会議所会頭賞 1編	中日新聞社賞 1編	大樹寺貫主賞 1編
	伊賀八幡宮宮司賞 1編	龍城神社宮司賞 1編	
	歴史審査員特別奨励賞 1編		
			合計12編程度

審査員は学識経験者4名程度です。受賞者に賞状ならびに副賞、応募者全員に参加賞があります。入賞発表は11月初旬に行い、事務局より所属の小・中学校を通じて入賞者へ通知します。

表彰式(予定) 2023年11月26日(日) 長薈館

その他

入賞者名及び優秀作品の一部は、公益財団法人 徳川記念財団のホームページに掲載します。また、入賞者は、報道発表において、氏名・学校名・作品・顔写真を掲載される事がありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ

公益財団法人 徳川記念財団 〒151-0065 東京都渋谷区大山町37-6 Tel:03-5790-1110 Fax:03-5790-2621 <http://www.tokugawa.ne.jp>
コンクール事務局: タニザワフーズ株式会社 〒444-0912 愛知県岡崎市井田西町1番地2 Tel:0564-21-9171 Fax:0564-26-2209